

※短歌は 22 作品を掲載します

中村 琴江 選 投稿数 20 句

冬蝶のくぐる笥けしや袖そでの宿

(評) 笥は長い竹を地上にかけ渡して山水を通すもの。袖の宿へ引き水をしているのです。小春日和の明るい日差しの中に、冬蝶が(紋黄蝶でしょうか)加わり竹む作者を和ませたのです。光景の見える秀句です。友と行くの句、明の春は初春のこと。「野の広々と」に新年を迎えた作者の希望に満ちた喜びが溢れており季語にぴったりの新鮮な秀句です。

三沢 長谷河 ソノ

友と行く野の広々と明の春

日向ぼこシルバーカーの二人かな

福の神授かるやうな初えびす

皆野 引問 千鶴

極月や無理しないでと子の電話

持久走五番になれた冬の空

短冊の展示に添ふる寒椿

今朝和む川面逆立つ鴨のゐて

冬麗や新垣勉コンサート

紅葉の大内宿に芋だんご

散策や冬日を友として歩く

すえまごに女のひまご十月に

皆野 大沼シヅ子

皆野 村田ハツ代

美の山の初日を拝み音頭おんどうを唄って囃す事始め也

皆野 保科 従道

豊作の大根漬けん皮を剥く風おさまりし縁の日溜まり

三沢 眞下 杏子

犬と猫よりそい寝むりしのぐ冷え吾が危惧笑い孫指さすや

下日野沢 新井 弘延

狐犬の追い鳴き出たぞ勢子の声テンションマックス雪山の狩り

皆野 戸塚喜久雄

この齢で目出度くもなしと思ひしがそと置かれたケーキはうれし

三沢 鈴木 貞恵

4・5冊を再三読みて味わいぬ短歌はじめし我は歌集を

下日野沢 中村 八郎

畑中の残りしキューリ挽ぎ採りて夕餉の膳に添えし楽しむ

国神 藤原マキ子

平凡な生活にあれと念じつつ地図なき八十路を踏み締め生きる

下日野沢 浅見 豊子

解かれても拉致さる苦悩引き摺りて被害者語る人権フォーラム

皆野 引問 万亀

大正の八年うまれ年かさね目おほるにて心さみし

下日野沢 鈴木 キク

少額でも救へる道はある筈だ学生募金千円箱え

皆野 市川 岳樹

足裏より冷へ身に沁むる厨にぞ万年主婦は今日も立ちたる

下日野沢 新井 節子

ペランダの菊の鉢植え咲き終えて来年又ねとそと水やる

下日野沢 新井 愛子

命賭け国を愛するスーチャー氏の民主勝利に輝くミャンマー

皆野 村田ハツ代

紅葉の飯盛り山にバス旅行幼き戦士哀れさ思ふ

三沢 新井 民子

何処までも広き空なる福島の御霊に捧ぐ御詠歌の鈴

三沢 打木 昭広

夜祭の饞を受け探査機はリュウグウ目指す旅路に就きぬ

皆野 四方田利男

フランスのテロのニュースの動向に平和を願ひ冬耕に励む

上日野沢 平 八郎

通学路脇の岩間にししおとし年間不断優雅を落とす

皆野小三年 太幡琉美花

晴明を羽生せん手がえんじれば世界さい高ぜつたい王者

皆野 関根 助市

歌詠みの指を折り行く散歩道出来し喜びに心踊りぬ

皆野 浅見 万亀

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

8日必着

1人1句、1首に限ります。

金子兜太先生トークショー

現代俳句界を代表する俳人金子兜太先生が、産土(うぶすな：生まれ育ったところ)の皆野町や秩父音頭などをテーマにトークショーを行います。

96歳になってますます意欲的に活動されている先生のお話が聴ける貴重な機会をお見逃しなく!



期 日 1月30日(土)
場 所 文化会館
内 容 ①伝統芸能音楽ライブ 午後1時～
②金子兜太先生のトークショー 午後1時30分～
入場料 無料

問合せ 観光協会(産業観光課) ☎62-1462

※満1歳の赤ちゃんを募集します。2月号の締め切りは、1月10日(日)まで。ホームページからも応募できます。